

石川県における“ゆるアウトドア”な観光コンテンツの企画・提案

団体名●基礎ゼミナールVI(石川美澄ゼミナール)／代表者名●石川美澄(経済学部准教授)

はじめに

基礎ゼミナールVI(石川美澄ゼミ)の目標は、観光動向に関する定量的データを収集・分析したり、グループワークを行ったりしながら、石川県の新たな魅力を創造し、発信していくためにはどのような発想・方法が必要であるかを考え、議論を重ねながら具体化させていくことである。今年度は、一般社団法人日本自動車連盟石川支部(以下、JAF 石川)の協力を得ながら、「石川県における“ゆるアウトドア”な観光コンテンツの企画・提案」に取り組んだ。

活動内容

①ゼミ研修旅行：夏季休暇中にゼミ研修旅行を実施した(2019年8月20, 21日)。この研修では、キャンプ場利用者に対するインタビューの実施と、道の駅等の観光資源に対する理解を深めることを目的とした。休暇村能登千里浜キャンプサイトに協力いただき、計3組のキャンパーにインタビューを行った。また、道の駅でのナンバープレート調査等も行い、宿泊先のホテルでは調査結果報告や意見交換の機会を設けた。

②後期の授業：まず、JAF 石川支部の元谷氏からは、JAFの事業紹介や地域との連携活動等に関して、石川県庁観光戦略推進部誘客戦略課の佐々木氏からは、北陸新幹線開業以降の県内の観光動向や特徴、誘客に関する取り組み等に関して話を伺った。また、担当教員からは、観光コンテンツの企画の流れを把握するための講義が行われた。次に、学生たちは5つのグループに分かれ、各グループでターゲットを設定し、メインとなる観光資源や体験内容について議論を重ねた。その際、観光統計等の様々な既存データを基に、ターゲット像(例えば家族構成や家計、旅行行動の特性等)を設定したり、観光コンテンツに組み込む体験内容を決定したりした。中間発表会(2019年11月15日実施)では、各グループによる企画内容の発表後に、JAF 石川や石川県庁の職員による質疑応答等が行われた。その後、グループ内で企画内容を再検討し、成果発表会(2020年1月17日実施)に臨んだ

(表1参照)。

表1：グループ名と観光コンテンツのメインタイトル

グループ名	提案した観光コンテンツのタイトル
Snow Quartet	穴水を遊びつくそう
チーム牛牛	たまには子供と自然を満喫 ～キャンプ体験 in 能登～
チーム示野	神秘的絶景珠洲の海 ～ビザと塩に出会う旅～
グループB	夏の能登自然体験 ～夏休みの思い出を作ろう～
チーム田中	UFOと海のわくドキ！キャンプ

成果、結果の考察

①成果発表会：成果発表会では、JAF 石川や石川県庁の職員4名が審査員となった。審査の結果、千里浜の浜辺でごみ拾いゲームと運動会を開催するというアイデアを盛り込んだ、チーム田中の「UFOと海のわくドキ！キャンプ」が最も高い評価を得た。

②学生による振り返り：学生からは、「1つの企画を提案する際に、裏付けとなる資料やデータを見つけるだけでなく、受け手に納得してもらえるような情報の収集力やまとめる力が身に付いた」、「発表会での講評を通じて、学生の考えるサービス・商品と、企業・組織が考えるそれとの(質・レベルの)違いがよく分かった」等の意見が挙がった。

今後の課題、展望

学外の組織・企業との連携は、学生同士の議論では得難い気づきを創造するため、今後も継続していきたい。なお、今年度は、現地調査に関する知識・技術を習得するための時間を十分に確保できなかったため、今後の課題としたい。



写真左：キャンプ場でのヒアリング 写真右：中間発表会